平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月28日

上場会社名 神戸電鉄株式会社　　上場取引所　東
コード番号 9046　URL　http://www.shintetsu.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 杉山 健博
問合せ先責任者　(役職名) 経営企画部 部長　(氏名) 前田 正明　TEL 078-576-8671
四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	16,800	△2.0	1,633	6.5	880	20.2	714	6.6
25年3月期第3四半期	17,143	△4.3	1,533	8.4	732	58.8	670	70.1

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　926百万円　(29.9%)　25年3月期第3四半期　713百万円　(△19.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	8.88	—
25年3月期第3四半期	8.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	97,207	12,282	12.6	152.61
25年3月期	98,966	11,360	11.5	141.13

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　12,282百万円　25年3月期　11,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,960	△1.0	1,561	△7.4	603	△5.8	512	△11.4	6.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	80,615,668 株	25年3月期	80,615,668 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	130,997 株	25年3月期	119,053 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	80,489,811 株	25年3月期3Q	80,503,852 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策への期待感や日本銀行の金融緩和策の効果等から円安・株高基調となり、また企業収益や個人消費に改善の動きが見られるなど景気は緩やかに回復しつつありますが、その一方で電気料金の値上げや原材料価格の上昇など先行き不透明な要因を抱えながら推移しました。こうした中、当社グループでは、平成25年度から28年度までの新中期経営計画「グループビジョン2016」に基づき、各部門において増収に注力するとともに経費の削減に努めた結果、当第３四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

すなわち、営業収益は16,800百万円となり前年同期に比べ343百万円（2.0％）減少、営業利益は1,633百万円となり前年同期に比べ100百万円（6.5％）増加、経常利益は880百万円となり前年同期に比べ148百万円（20.2％）増加、四半期純利益は714百万円となり前年同期に比べ44百万円（6.6％）増加しました。

当第３四半期連結累計期間のセグメント別の概況は、次のとおりであります。

（運　輸　業）

鉄道事業では、平成25年５月に惹き起こした有馬口駅構内における列車脱線事故の原因について、現在運輸安全委員会において調査中でありますが、当社においても外部の専門機関の協力を得て、独自に事故原因の究明を進めるとともに、引き続き「安全の絶対確保」を図るため、安全管理体制のさらなる整備・充実に取り組んでおります。

増収策としては、「有馬・六甲周遊１dayパス」など各種企画乗車券の発売や企画ハイキングの開催等に努めたほか、ご利用者の減少が続く粟生線においては、「粟生線通勤Come Back補助制度」による通勤定期利用者の拡大、「粟生線サポーターズくらぶ」の会員募集、「粟生線乗ろうＤＡＹ！プログラム」による利用促進などを推し進めており、沿線自治体や地域の皆様と一体となって効果的かつ実効性のある活性化策を展開しております。その一方でコスト面では、運行経費の削減を図るため、車両の短編成化等を実施しました。

バス事業では、平成25年５月より新たにバス路線の運行を受託したほか、企業および学校の貸切送迎業務をはじめ積極的な営業活動を行い、増収に努めました。

これらの結果、運輸業の営業収益は9,615百万円となり、就業・就学人口の減少などの影響により前年同期に比べ10百万円（0.1％）減少しましたが、営業利益は919百万円となり、輸送の効率化および経費の削減などにより前年同期に比べ77百万円（9.1％）増加しました。

（流　通　業）

神鉄食彩館（食品スーパー）において、平成25年11月に「神鉄食彩館落合店（神戸市須磨区）」を新規にオープンしたほか、既存店についても商品構成の見直しや販促の強化などにより収益の向上に努めました。

しかしながら、競合の激化などにより、流通業の営業収益は4,648百万円となり前年同期に比べ226百万円（4.6％）減少し、営業利益は155百万円となり前年同期に比べ10百万円（6.1％）減少しました。

（不 動 産 業）

土地建物販売業において、戸建用地の分譲に努めるとともに、土地建物賃貸業においては、既存物件の稼働率向上などにより収益の拡大を図りました。また、平成25年４月より指定管理者として「中突堤中央ターミナル（神戸市中央区）」を新たに受託したほか、６月より見津車庫の構内用地（神戸市西区）において太陽光発電事業を開始し、いずれも順調に推移しております。

これらの結果、不動産業の営業収益は1,282百万円となり、土地分譲区画数の減少により前年同期に比べ159百万円（11.0％）減少しましたが、営業利益は511百万円となり、経費の削減などにより前年同期に比べ22百万円（4.5％）増加しました。

（そ　の　他）

健康・保育事業において、平成25年４月より「谷上保育園（神戸市北区）」の分園を開設するとともに、兵庫県小野市では、従来の学童保育に加えて新たに障がい児学童保育を開始し、園児数の増加に努めました。また、建設業においては、当社グループ外からの受注拡大に努めました。

これらの結果、その他の営業収益は1,920百万円となり前年同期に比べ39百万円（2.1％）増加し、営業利益は75百万円となり前年同期に比べ１百万円（1.4％）増加しました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ1,759百万円減少の97,207百万円となりました。

当第３四半期連結会計期間末の負債は、借入金の返済及び買掛金の減少等により前連結会計年度末に比べ2,681百万円減少の84,925百万円となりました。

当第３四半期連結会計期間末の純資産は、当四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ922百万円増加の12,282百万円となり、自己資本比率は12.6％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月14日発表の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,549	1,348
受取手形及び売掛金	934	844
販売土地及び建物	1,348	1,285
商品	92	117
貯蔵品	451	532
未成工事支出金	16	64
その他	971	549
流動資産合計	5,366	4,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	48,500	47,383
機械装置及び運搬具（純額）	5,996	5,669
土地	34,445	34,445
建設仮勘定	1,002	1,309
その他（純額）	514	467
有形固定資産合計	90,459	89,274
無形固定資産		
のれん	37	32
その他	694	610
無形固定資産合計	732	642
投資その他の資産		
投資有価証券	910	1,178
その他	1,498	1,369
投資その他の資産合計	2,408	2,548
固定資産合計	93,600	92,465
資産合計	98,966	97,207
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,666	1,061
短期借入金	28,432	31,172
未払法人税等	61	68
賞与引当金	41	18
その他	2,748	2,729
流動負債合計	32,949	35,049
固定負債		
長期借入金	46,120	41,553
退職給付引当金	1,636	1,541
その他	6,899	6,780
固定負債合計	54,656	49,875
負債合計	87,606	84,925

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,710	11,710
利益剰余金	△1,425	△711
自己株式	△32	△36
株主資本合計	10,252	10,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135	337
繰延ヘッジ損益	△99	△90
土地再評価差額金	1,072	1,072
その他の包括利益累計額合計	1,108	1,319
純資産合計	11,360	12,282
負債純資産合計	98,966	97,207

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
営業収益	17,143	16,800
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	13,719	13,309
販売費及び一般管理費	1,890	1,856
営業費合計	15,609	15,166
営業利益	1,533	1,633
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	20
受取保険金	36	2
雑収入	60	40
営業外収益合計	117	65
営業外費用		
支払利息	890	793
雑支出	28	24
営業外費用合計	919	818
経常利益	732	880
特別利益		
固定資産売却益	2	－
投資有価証券売却益	－	10
工事負担金等受入額	29	1
特別利益合計	32	12
特別損失		
工事負担金等圧縮額	29	1
投資有価証券評価損	2	－
鉄道事故復旧費	－	83
その他	－	17
特別損失合計	32	101
税金等調整前四半期純利益	732	790
法人税、住民税及び事業税	57	70
法人税等調整額	3	5
法人税等合計	61	75
少数株主損益調整前四半期純利益	670	714
四半期純利益	670	714

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	670	714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50	202
繰延ヘッジ損益	△7	9
その他の包括利益合計	42	211
四半期包括利益	713	926
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	713	926
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

［報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報］

前第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	運輸業	流通業	不動産業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	9,612	4,867	1,377	15,857	1,286	17,143	－	17,143
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	12	6	64	83	595	678	(678)	－
計	9,625	4,874	1,441	15,940	1,881	17,822	(678)	17,143
セグメント利益	842	165	489	1,496	74	1,571	(37)	1,533

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業、健康・保育事業及び建設業他を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△37百万円は、主にセグメント間取引であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第３半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	運輸業	流通業	不動産業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	9,602	4,640	1,218	15,462	1,337	16,800	－	16,800
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	12	7	64	84	582	667	(667)	－
計	9,615	4,648	1,282	15,546	1,920	17,467	(667)	16,800
セグメント利益	919	155	511	1,587	75	1,662	(29)	1,633

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業、健康・保育事業及び建設業他を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△29百万円は、主にセグメント間取引であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．運輸成績

（１）輸送人員

		当第３四半期累計期間 （自平成25年４月１日 至平成25年12月31日）	前第３四半期累計期間 （自平成24年４月１日 至平成24年12月31日）	増　減　率
		千人	千人	%
第一種	定期外	11,048	11,132	△0.8
	定期	20,589	20,677	△0.4
	計	31,638	31,810	△0.5
第二種	定期外	4,234	4,106	3.1
	定期	8,434	8,365	0.8
	計	12,669	12,472	1.6
合計	定期外	15,283	15,238	0.3
	定期	29,024	29,043	△0.1
	計	44,307	44,282	0.1

（２）旅客収入

		当第３四半期累計期間 （自平成25年４月１日 至平成25年12月31日）	前第３四半期累計期間 （自平成24年４月１日 至平成24年12月31日）	増　減　率
		千円	千円	%
第一種	定期外	3,445,318	3,475,876	△0.9
	定期	3,435,934	3,451,749	△0.5
	計	6,881,252	6,927,626	△0.7
第二種	定期外	124,762	121,115	3.0
	定期	141,551	140,431	0.8
	計	266,314	261,546	1.8
合計	定期外	3,570,081	3,596,991	△0.7
	定期	3,577,485	3,592,181	△0.4
	計	7,147,567	7,189,173	△0.6

（注）輸送人員は千人未満を、旅客収入は千円未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。